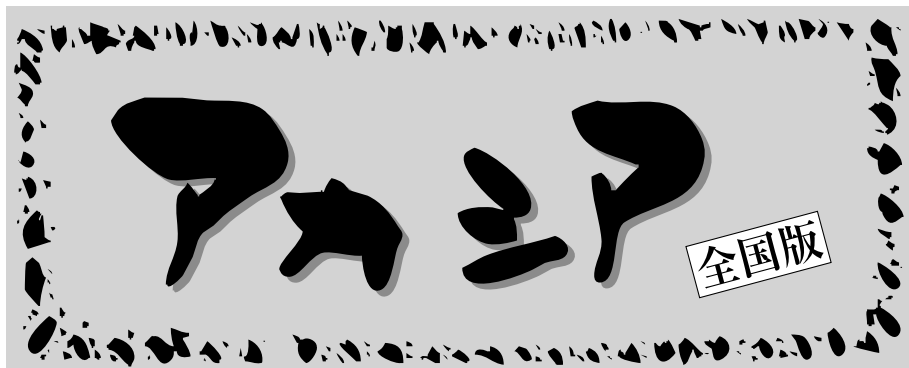




第473号 2013年7月1日

編集・発行

アカシア会

連絡先 アカシア会事務局

〒734-0005 広島市南区翠1-1-1

広大附属アカシア会館

TEL & FAX 082-253-5581

次回は 通算 556回 例会

73回の河野俊嗣です。カープの日南キャンプは今年で51年目。J1覇者のサンフレッチェ広島は宮崎市内でキャンプ。それぞれ、「宮崎牛」（日本一2連覇！）や「冷凍みやざき完熟マンゴー」（新製品！）を持って激励にまいりました。幸せな仕事です。プロ野球もJリーグも、宮崎でキャンプを行うチームの優勝が続いています。今年こそ、カープの胴上げシーンを見たいものです。同窓の縁もあり、湯崎知事とは知事会等で連携を図っております。アカシア会並びに会員の皆様の益々の御発展をお祈り申し上げます。

河野俊嗣（73回）（宮崎県知事）

暑中お見舞い申し上げます。



75回の湯崎英彦です。皆様には平素より県政にご理解、ご協力いただき、ありがとうございます。県内では現在、「ピースアーチひろしま」プロジェクトを展開し、また今月からは、復興と平和の象徴である広島が先頭に立ってピースコンサートや国際平和のための世界経済人会議を通し世界平和実現のための具体的取組みを展開して参ります。

早いもので知事としての任期も残り数か月となりました。

河野知事と共に地方を盛り立て、引き続き職務に尽力して参りますので、皆様のご支援を宜しくお願い申し上げます。

湯崎英彦（75回）（広島県知事）

平成27年(2015年)は創立110周年！

いよいよ、記念事業実行委員会組織及び部会が発足します。これから皆様にもご協力いただき、意義あるものにしていきましょう。各地域アカシアとの連携強化、未来につながる仕組み作り、地域社会への貢献等に取り組んで参ります。詳しくは2頁をご覧ください。

ご予約ください

2013年10月9日発行
へ向けて現在作成中！

「業種別索引」も掲載しています。
同封の払込取扱票でお申込みください。

☎ 01300-4-13111
「アカシア会」

2014年版 10月発行
アカシア会
会員名簿

（定価）3,600円

7月末日までにお届けいただいているご住所が名簿に反映されますので変更のある方はお早めにお知らせください。

第9回 原爆死没者・戦没者慰霊追悼の集い

日時：8月6日（火）午前9時から

場所：広大附属高校内「原爆死没者・戦没者慰霊碑」前



ご遺族のほか現役の附属生徒、卒業生などが参列して慰霊式典を執り行います。

慰霊式の終了後9時45分から講堂にて「被爆体験を聞く会」を、38回生 森 武徳氏をお招きして開催します。多数ご参列ください。暑さ厳しき折、平服でお越し下さい。

平成25年度 アカシア会総会

日時：平成25年7月17日（水）午後6時30分

場所：アンデルセン（本通）

平成24年度事業・決算報告、監査報告

平成25年度事業計画・予算案 他

アカシア会員なら参加自由。直接会場にお越しください。総会後の月例アカシア懇談会費は4,000円（82回以降の卒業生3,000円）です。

Contents

- | | |
|------------------------|------------------------|
| 暑中見舞い、総会案内、追悼の集い案内 … 1 | 近畿アカシア会、東海アカシア会 … 9 |
| 総会議事資料、常任幹事会報告、110周年 | 呉アカシア会、各地域アカシア会案内 … 10 |
| 記念事業、運営会費納入のお願い …… 2 | 職域・クラブだより、同期会だより … 11 |
| 友誼の御園（母校だより） …… 3 | ライブラリー、会報編集委員会、訃報 … 14 |
| アカシア探検隊 伊賀健一氏(49回) … 4 | 出てもらうてもええかいのお、 |
| アカシア夜話（勤労奉仕そして被爆） … 6 | アカシアカップル、事務局だより …… 15 |
| いろいろアカシア情報、東京アカシア会 … 8 | 6月月例会レポート、月例会案内 …… 16 |

総会議事資料

平成24年度 アカシア会 収支計算書

自：平成24年4月1日～至：平成25年3月31日

会長 向井恒雄 幹事長 大方幸三 会計幹事 畑 秀樹 熊野留美子

■当年度会計の部

(単位：円)

収入の部		支出の部	
会員運営会費	1,160,000	会報発行費	2,981,048
会員維持会費	20,000	名簿発行費	3,715,359
会員・準会員入会金	5,000	通信費	40,251
新卒者維持会費	2,070,000	電話料	45,864
新卒者入会金	1,035,000	旅費交通費	263,080
名簿販売収入	1,353,500	会議費	332,017
広告料収入	3,482,000	人件費	1,791,740
預金利息	797	事務用品費	49,037
アカシア基金運用益	113,803	母校宛寄付金	70,000
寄付金収入	132,449	手数料	141,475
雑収入	77,034	追悼の集い諸経費	44,584
事務受託費	360,000	雑費	3,974
その他の収入	0	器具備品費	330,696
基金売却益	0	維持費	63,000
運営積立金から振替	250,000	その他の支出	70,875
		合計	9,943,000
収入の部合計	10,059,583	当年度剰余金	116,583
		支出の部合計	10,059,583

■剰余金計算の部

(単位：円)

前年度繰越額	1,910,692
当年度剰余金	116,583
差引翌年度繰越額	2,027,275

■運営積立金の部

(単位：円)

前年度繰越額	34,052,200
運営会費収入	5,630,000
当年度会計へ振替	▲250,000
当年度会計より	0
差引翌年度繰越額	39,432,200

■アカシア基金の部

(特別事業準備金・学校行事補助費) (単位：円)

前年度繰越額	16,400,000
当年度受入額	0
差引翌年度繰越額	16,400,000

監査報告書

上記収支計算書および財産目録につき監査の結果、適正に経理されていることを認めます。
平成25年5月7日 監事 高橋正光(46回)
監事 寒川起佳(51回)

■総会で審議予定の議案

◆平成24年度事業・決算報告

(1)事業報告

- ・アカシア会報と名簿の発行
会報 平成24年7月 12,250部
平成25年1月 12,200部
名簿 平成24年10月 1,000部
- ・地域アカシア会の交流・連携強化
- ・会員データ調査
- ・その他

(2)決算報告

(3)監査報告

◆平成25年度事業計画・予算案

(1)事業計画

- ・アカシア会報と名簿の発行
会報 平成25年7月 12,300部
平成26年1月 12,300部
名簿 平成25年10月 900部
- ・地域アカシア会の交流・連携強化
- ・110周年記念事業費としてアカシア基金より実行委員会に貸付枠300万円を設ける。

(2)予算案(略)

(3)会則第11条(役員)改定について

1. 記念事業の方針

将来の記念事業の在り方を見据え、若い世代の意見を反映するもの、広島以外の会員が参加を望むもの、地域社会への貢献可能な内容のものを旨とする。

2. 実行委員会の組織と部会

110周年実行委員会

実行委員長：本田和哉(62)

副実行委員長：前 泰弘(71)

事務局 長：熊野義夫(58)

事務局 次長：先本賢司(71)

4部会

総務統括部会 部会長：甲斐 稔(63)

副部会長：鈴木俊哉(66)

財務募金部会 部会長：榎本良二(69)

副部会長：畑 秀樹(70)

行事運営部会 部会長：木坂俊治(67)

副部会長：三原千恵(66)

広報記録部会 部会長：陰山秀明(63)

副部会長：中本泰弘(65)

運営会費納入のお願い

アカシア会の健全で永続的な運営のために、73回以前の卒業生全員に1万円の運営会費をお願いしております。まだ、納入いただいていない会員の皆様には振込票を同封しています。是非ご協力をお願いします。

常任幹事会報告

平成25年6月13日母校会議室に於いて

常任幹事会が開催された。向井恒雄会長(50回)の挨拶の後、以下の事項について、報告・審議した。



向井恒雄会長(50)

報告・依頼事項

①原爆慰霊祭について

8月6日学年幹事により開催する。

②名簿広告の取得拡大について

会の運営に必要な収入であるが、減少傾向にあり、今後は新規獲得の努力をする。

③110周年準備委員会について

準備委員会を発足後、検討を重ね、記念事業の基本的な方針と組織及び部会の案を作成した。(右に掲載)

④今後のアカシア会の運営について

常任幹事に広島以外の地域アカシア会から選任可能にし、連携や協力体制を強化する。その為に会則の改定を行う。

⑤4月に事務局員が交替について

新任の京極佳子氏(81回)の紹介。

審議事項

①平成24年度事業報告、決算書(案)承認

②平成25年度事業計画、予算書(案)承認

③会則第11条(役員)改定について 承認



福田 眞氏(55)



横手靖吾氏(54)

オブザーバーとして東京から福田眞氏(55回)、岡山から横手靖吾氏(54回)、呉から奥村誠哉氏(49回)に参加頂き、各アカシア会の現況を披露いただいた。最後に大方幸三幹事長(46回)が閉会の辞を述べ散会となった。



奥村誠哉氏(49)



大方幸三幹事長(46)

110周年記念事業

110周年記念事業について、準備委員会により検討され提案された以下の事項について、審議の上、承認された。

友 誼 の 御 園 ～ 母 校 だ よ り ～

— エバヤマザクラのクローン培養成功 — (SSH生徒課題研究)

「ヒロシマエバヤマザクラ」は、広島市中区江波山に自生する遅咲きの八重桜で、1998年に広島市特別天然記念物に指定されています。既に広島市は、接ぎ木や挿し木によって個体を殖や



していますが、元の樹を傷めない今回の方法によるクローン大量増殖の成功は初めてで、今後の応用が期待されます。

本校は、SSH(スーパーサイエンス・ハイスクール)に指定された2003年から、オートクレーブ、クリーンベンチ、インキュベータなど、高校では通常持ち得ない機器を購入して、SSクラスの生徒課題研究として、組織培養の研究をしてきました。2007年4月からは、エバヤマザクラの組織培養の研究を3代にわたり続けてきました。この研究の目的は、自生するものとしては1本しかない広島の江波山公園にある希少種ヒロシマエバヤマザクラと遺伝学的に同じ個体を組織培養により殖やし、



後世に残すことです。3代目にあたる今回のグループは、103回生(2013年3月卒業)の生徒6名(末廣晴美さん、渡邊萌さん、石坂清香さん、平岡敬一君、山本隼史君、木村惇志君)です。彼らは、先輩のノウハウを引き継ぎ、また、専門家である住友林業(株)筑波研究所の中村健太郎主席研究員の技術協力を得ることにより、ついにクローン培養に成功しました。

このことについて、3月21日に記者発表をし、当日夕方のTSSニュースや翌22日のNHK広島のニュースのほか、毎日新聞、朝日新聞、中国新聞、山陽新聞でも取り上げられました。また、4月24日には、フジテレビ「スーパー

ニュース」で、「日本のやっぱりスゴイ技術!」として関東地方に放映され、5月7日には広島ローカルでも放映されました。

今回の成功のポイントは、冬芽を使ったことと、WPM培地に特別な糖を添加したことです。この研究成果は、「第54回日本植物生理学会年会」の高校生ポスター発表において、最優秀賞を獲得しました。

エバヤマザクラは、現在DNA解析の依頼中ですが、ソメイヨシノの枝変わり(突然変異)で、分類学上は変種(var.)にあたるのではないかと推測されています。特徴としてはヤマザクラの特徴を備えていますが、それはソメイヨシノが、エドヒガンとオオシマザクラの雑種であり、先祖返りをしたと思われます。なお、ソメイヨシノもヒロシマエバヤマザクラも通常、種子はできません。

約30個体のクローン苗木が、現在筑波研究所の培養器の中で育っており、来春には本校にも植えられる予定です。

白神 聖也(理科)



高校生平和大使に 小櫻智穂さん(高I)

「広島で生まれ育った私にできることはなんだろう」……

全国から選ばれた高校生が、国連を訪ねて核兵器廃絶と世界平和を訴える「高校生平和大使」として、被爆地ヒロシマから参加する2人のうちの1人に、本校I年生小櫻智穂さんが選ばれました。

6月6日に広島市役所で開かれた記者会見に臨み、6月8日に長崎市で行われた結団式に参加しました。

8月20日にはジュネーブの国連欧州本部を訪問の予定。

「国連訪問では、中学校の時に出会った被爆者の方、そして今年この活動を通じてであったすべての方の思いを胸に、広島で生まれ育ったからこそ伝えられる、核兵器廃絶と世界平和を訴えていきたい。」

国連訪問までの間は、広島で核兵器廃絶を求める署名活動を行います。お近くの方は、ご協力よろしくお願いします。

体育祭 9月7日(土)
雨天順延

～地域医療の現場から～

6月13日(木)、地域医療の実態を広島県地域保健医療推進機構地域医療推進部医監 古川正愛氏(85回)をお招きし、希望者を対象に「地域医療説明会」を開催しました。

先生は自治医科大学卒業後、JA吉田総合病院、安芸太田病院、広島県立広島病院など広島県内の地域医療の現場で働かれ、現在も医療行政に携わっておられます。

「地域で医師をすること」と題し、医学部進学に興味を持つ生徒に向けてユーモアを交えながらわかりやすく『「地域」の実情』『「医師」の実情』『「地域で医師をする」ことの意味』について語っていただきました。参加した生徒も熱心にメモを取りながら耳を傾けていました。



アカシア探険隊

MI・2013(夏)
～光エレクトロニクス
玉手箱へ潜入の巻～



49回 伊賀 健一 氏
～東京工業大学
名誉教授/前学長～

＝ アカシア会館にて ＝

中：今回はちい～と、トイイところへ
いかにゃいけんかいのう？

谷：(ゆーていっつも近場じゃし。
ほう、どなたを訪ねるんです？

中：レーザー関係で大きな業績・実績
のある人よ。

谷：レーザー？う～ん、「レーザー」
→「レーザービーム」→「イチロー」
→「ヤンキース」→「ニューヨーク」。
お！初の海外取材ですか？！

中：ニューヨークじゃないがの。49回
の伊賀健一先輩のフランクリン賞
が決まったけえ、フィラデルフィ
アでの授賞式に潜入して、インタ
ビューを取らんにゃいけんのよ。

谷：よっしゃ～！

＝ 広島駅新幹線口にて ＝

谷：あら？新横浜までの新幹線の切
符だけ？航空券はどしたんです
か？

中：すまんのう～。授賞式は4月にも
う終わっとった。じゃけえ今日は
先輩のご自宅に伺うことになった
んよ。

谷：・・・<(^ ^)>・・・。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
ということで、今回は49回卒の東京工
業大学名誉教授・前学長の伊賀健一さ
んを東京都町田市に訪ねました。伊賀
さんは今年4月25日に、「面発光レー
ザーの発案と光エレクトロニクスへの
広範な応用への研究」の業績に関して、
世界的学術賞であるフランクリン賞の
うち最高のパウワー賞を受賞されまし

た。日本在住の日本人としては初の受
賞です。フィラデルフィアの代わりに、
フランクリン賞が出てくる「光エレク
トロニクスの玉手箱」へ潜入しました。

◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆ ◆
中：フランクリン賞の授賞式はいかが
でしたか？

伊：世界的な賞だけあって、700人も
の人が式と晩餐会に出席してそれ
はそれは盛会でした。

谷：早速ですが、まずは附属時代の思
い出あたりからお聞かせ願えませ
んか？

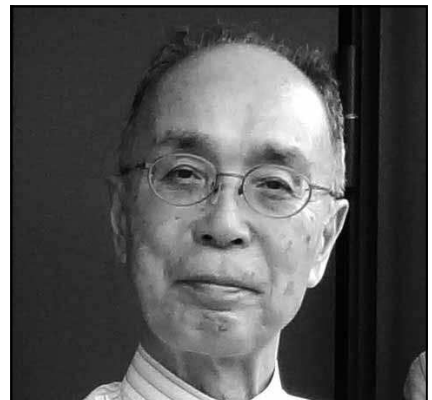
伊：私は高校から入りました。当時の
受験倍率は12倍を超え、英語や音
楽のヒヤリングなんかもあったの
を覚えています。大学は理工系に
行こうと思っていたので物理・化
学はどうせ勉強するからというわ
けで地学を希望しました。その5
組の担任は恩藤知典先生で、断層
の調査などで山へ連れて行っても
らったりする実地の授業は楽しく
て勉強になりました。

1年間はバスと汽車で2時間かけ
て呉から通学していましたが、夏
は窓から蒸気機関車の煙が入って
きて大変でした。その通学時間は
英語の教科書を暗記するのに役立
ちましたね。2年生からは賄い付
きの千田町の下宿に入りました。
4人ほど下宿人がいて、その中に
は柳井から来ていた藤元(浅井)薫
君がいました。のちに下宿を引越
した際も彼とは一緒でした。

附属高校というのは、何かと行事
が多かったですね。宮島までのマ
ラソン、臨海学校、2時間遠泳、
キャンプ、白馬登山、運動会。3



年の運動会では白軍
の応援団長をやりま
した。修学旅行は東
京・日光方面でした。
途中の汽車の中で、
何人かが網棚をハン
モック代わりに寝て
いたんですが、それ



P r o f i l e

1940年呉市生まれ。1959年広島大学附属高
等学校卒業。1963年東京工業大学理工学部・
電気工学課程卒業。1968年同大学院・博士
課程修了(工学博士)。同年4月東京工業大
学・精密工学研究所助手、1974年10月助教授、
1984年8月教授。面発光レーザーを中心と
する光通信デバイスに関する研究。1979
～80年ベル研究所客員。2001年3月東京工
業大学を定年退職・名誉教授。2001年4月
～2007年9月日本学術振興会理事。2007年
10月～2012年9月東京工業大学・学長。
1998年朝日賞、2001年紫綬褒章、2003年
IEEE Noble賞、藤原賞。2013年Franklin賞
(The Bower Award)。

電子情報通信学会・会長など歴任。応用物
理学会・日本光学会・微小光学研究グルー
プ代表。

が車掌に見つかってひどくしから
れました。しかし柳川博保君が機
転を利かせ、先生を装ってその場
を上手く収めてくれました(笑)。
まあ、左様に5組は最も先生たち
の手を焼かせたクラスでした。3
年の時の担任の藤井千之助先生曰
く「5組にはロクなのがおらん」。
しかし、40人中7人が大学教員に
なってそのうち2人が学長になり
ました。そのほか多くの会社・団
体のトップがいます。わからんも
んです(笑)。それどころか
卒業式の時、三好 稔校長からは、



皆様、是非お越し下さい！

入場無料

合唱班 第7回 定期演奏会

日時：2013年8月4日(日)

開場：14:30 開演：15:00

場所：広島大学附属中・高等学校講堂

曲目：「ルネサンス期イギリス世俗曲集」より、「Seasons of
Love」、「小さな恋のうた」、「となりのトトロ」、「友」、
谷川俊太郎作詞・木下牧子作曲「地平線のかたへ」他



管弦楽班 第37回 定期演奏会

日時：2013年8月10日(土) 開場：16:00 開演：16:30

場所：広島国際会議場フェニックスホール(平和公園内)

曲目：ベルリオーズ「幻想交響曲」、ミュージカル「ライオンキング」
より、「レ・ミゼラブル」より 他

※会場に駐車場はございませんので、付近の一般駐車スペースにお停め頂く
か、市内電車などの公共交通機関をご利用下さい。

開学以来最悪の学年だと言われたそうです(爆笑)。

谷：部活は何かおやりに？

伊：小さいときから電気好きのラジオ少年でしたから、科学班に入っていました。そのほか合唱もやっていましたね。大学に入ってからコントラバスを始めたのですが、これが役に立ちました。

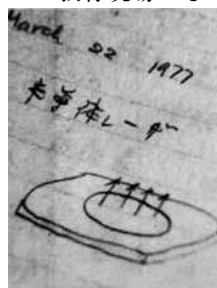
谷：受験する大学はどのように？

伊：「ものづくり」の道へ進もうと思っていました。自然と東工大と決まっていたね。東工大は蔵前に在った東京高等工業学校の流れを汲む大学ですから、「ものづくり」の雰囲気にあふれていたことを知っていましたので。

谷：今日まで様々な研究を行ってこられたわけですが、どのような事を心がけてこられたのでしょうか？

伊：色々ありますが、一つに「これが出来たら素晴らしいという夢をもつこと、実現するための理論を考え、実験装置なども自分たちで作し、技術を磨く」ということでしょう。今回フランクリン賞を頂いた「面発光レーザー」の場合、光通信の将来はこうなるというイメージを持ち、そのための新しいレーザーは無いかと考えた挙げ句アイデアが浮かんだのです。研究を始めたのですが、すぐには上手くいかない。原理に不都合があるのか、技術がダメなだけなのか？それぞれバランスをとりながら検証、証明してゆかねばならないのです。そして一番重要視したのが教育現場でもあるという事。つまり、プロフェッショナルなプロジェクトとして、夢・戦略・教育のバランスを取ることです。

谷：もっと具体的に説明して頂くと？



ひらめいた当時のメモ

伊：「夢」とは、モチベーションと言い換えても良いでしょうね。つまりもし出来たとしたらなんとすばらしい事だろうか、という気持ちです。これが一番の基点です。「戦略」としては、プロジェクトとして少しずつでも成果を出し続ける事を目指しました。野球に例えるなら、同じ三振でも振り逃げで生きる。「教育」とは、人材育成で、非常に重要です。学生たちには、原理を理解し、技術を身につけ果立ってもらわないと困る。研究成果はあくまで副産物であって、本当の成果は次代に繋がる人材育成。それが大学です。

谷：さすがは、大学の学長をされた方のお言葉ですね。

伊：お陰様で、40人ほどの博士課程学生が育ちました。面発光レーザーは、皆さんがお使いのコンピューター用のマウス、レーザープリンター、それから高速のLANなどに使われ、世界で11億個が生産されています。

中：さて、附属の現役生徒諸君へのメッセージを頂けますか？

伊：高校時代にしか出来ない事、というのがあります。勉強もしなければなりません、クラブ活動や学校行事へはぜひ積極的・主体的に参加してもらいたい。そうでないと、大学に入っても社会に出て、いざと言う時にパワー・創造力が出ません。長年、大学の教育現場で過ごしてきた者の実感です。特に附属には、生徒を型にはめず、夢を自由に育てる気風があり、創造力を十分に発揮できる他に類を見ない環境があるはずですから。その上で、東工大に進学してくれるとなおうれしいです。(笑)

谷：続いてアカシアのメンバーに対するメッセージも頂けますか？

伊：アカシア会は卒業生の親睦を保つという、素晴らしい活動を行っています。それに加えて母校の発展

を積極的に応援すべきだと思います。東工大は勿論、広島大学も含め国立大学は独立法人に移行して既に10年になります。教職員も公務員ではありませんし、道は自分たちで切り開かないといけない。それを踏まえて母校の行く末を学校側と共に考えていくべきと思っています。東工大も附属高校と蔵前工業会・芝浦工業会という強力な同窓会を持っていて高校・大学・同窓会との連携を進めています。広島大学からもっと協力を得て、附属学校の特色を広島近隣の小中学生にアピールすることでしょうね。

谷：これからどのように？

伊：OplusE誌に「光エレクトロニクスの玉手箱」という20回くらいの連載*)と科学新聞に「科学者が語る自伝」を書いています。6月7日号が附属高校編でした。

*) <http://www.adcom-media.co.jp/opluse/tmo/>

中：本日は有難うございました。



中：中本 泰弘(65回)

谷：谷口 公啓(73回)



フランクリン賞の
ゴールドメダル

コントラバス

伊賀健一氏のフランクリン賞ウェブページ
<http://www.fi.edu/franklinawards/13/bowersci.html>

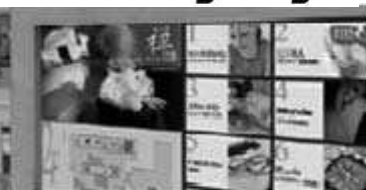


左から中本泰弘(65回)、伊賀健一氏(49回)、
谷口公啓(73回)

TATESHIBA



コンテンツ配信
表示システム **e-Signage**



株式会社 **立 芝**
<http://www.tateshiba.co.jp>

アカシア夜話

アカシアンナイト
第10話

(勤労奉仕そして被爆)



1945年(昭和20年)、全国の中学生や女学生が勤労奉仕に動員される中、広島高師附属中学の生徒たちも例外ではありませんでした。今回は、当時最上級生(4年生)だった38回の**中西 巖**さん、**森 武徳**さん、**津田和三**さん、**檜垣孝雄**さんにお集まりいただき、1年生だった**新井俊一郎**さん(41回)と共に、当時のお話を伺いました。

学制変革

甲斐：今日はお集まりいただき、ありがとうございました。最初に一つお聞きしたいのは、旧制中学は確か5年制ですから、新井さんが1年生の時の最上級生は37回になるはずですが、なぜ38回が最上級となるのでしょうか。**中西**：昭和19年度から4年制になったんです。ただし実施されたのは昭和20年3月卒業の37回生だけでした。**新井**：だから私が入学した時にもらった生徒手帳では、校歌の「いつとせ」が「よとせを」になってました。**森**：その昭和19年というのは、いろいろな学制変革がありました。科学学級が誕生したのも昭和19年。いろいろなことが起こったね、あの年は。

戦争の時代

森：小学校に入学する年の2月に、226事件があつてね。2年生の時に盧溝橋事件。それから本格的な戦争時代に入りました最初は私どもの生活に影響はあまりありませんでした。そのうち、2、3年生の頃から、例えば小学校の遠足でもお菓子を持って来ることはできない、弁当は日の丸弁当という強制が始まったりとか。欲しがりません勝つまでは、みたいな形で生活全般が制限されるようになりました。



中西 巖さん

中：私は向洋に住んでいたけれど、連日連夜、出征する兵士を見送りに行きます。日の丸の旗を紙で作ってね。皆が宇品まで歩いて行った。**甲**：宇品まで来るのですか、小学生も。**森**：あの頃、大陸に送られる兵隊は、広島に集められたん

です。そしてここで部隊編成をして、装具一式新品を支給して、宇品から船に載せられて大陸に渡って行くんです。**津**：私は鷹野橋に住んでましたから、その行列が必ずあの電車通りを通るんです、毎日のように。**新**：町内会や学校から動員がかかりまして、日の丸持って集まれます。**森**：小学生や、婦人会や、在郷軍人会などが動員されて小旗を振って、バンザイ、バンザイで。**中**：僕らは向洋から宇品の港へ行って、あそこの船で出るのを見送って旗を振るのね。**森**：部隊が4列縦隊で行進していくのですが、女の人、たいていその部隊の後ろからついて行くんです。乳飲み子を背中に負ってました。一家の支柱になる人が召集で戦地に送られるわけですから、大変なことだったなと思います。



森 武徳さん

日米開戦・附属中学入学

森：附属中学入学の直前の昭和16年(1941年)12月8日が真珠湾攻撃の日で、環境がいろいろと変わりました。臨時教員養成所も、増員されました。理科の先生方が応召で、数が足りないと。私どもが東組で、1学年3クラスになる初めてのクラスでしたが、臨時教員養成所が増員されたから、教育実習に来るクラスが足りないというので増員になったわけです。**檜垣**：元々は北組と南組だけで、東組はありませんでしたから。**津**：そうです。急に増員した粗製濫造組なんです、私達は。**中**：だから学科試験も無かったですな。メンタルテストみたいなのが、ちょっと。**森**：あとは小学校からの内申書。**甲**：それで一クラス分、38回から人数が増えているのですね。

勤労働員

甲：勤労働員というのはいつ頃から始まったのでしょうか。**森**：1年、2年の時から日帰りや泊まり込みもあったけれど、その時々いろいろな所に行きました。陸軍の兵器廠、被服廠、糧秣廠なども。**中**：ただ1年、2年はやっぱり勉強

もしましたよ。**津**：水害の復旧に可部や緑井、三入の方によく行きました。**中**：農家に泊めてもらって。**新**：作業態度が優秀だといって、附属が褒められたと聞きました。



津田和三さん

中：3年生になると岩国空港、我々はあそこでさんざん勤労奉仕をさせられて。**森**：あそこに零戦がおったんです。掩体(えんたい)壕(ごう)いうので、零戦の周りにモッコで土砂を運んで、馬蹄形の土手を作って囲みんです。壕(ごう)たつて、穴(あな)じゃない訳で。上からやられたら、別になんでもないんですが。**中**：上はパーパーです。**森**：周りに爆弾が落ちた時に、爆風を一応受けないというだけのこと。結局、何の値打ちもなかった。さんざん、ひどい目に遭うて。**中**：時たま、その中に機銃が据えてあるから、よく見たら木造で、ニセモノだったんです。そんな具合でした。**森**：大変な重労働でした。だからお昼休みが1時間40分もあるんです。25分作業があると15分休みをくれたり。大人の基準でそうなるくらいですから、とても私達中学3年生の体力でもてるような労働じゃなかったです。**中**：苦しかったから、おおかた1カ月だったのかな。**森**：いや1カ月は無い、半月ですよ。**中**：半月だったかなあ、長く感じたよのお。本当にもう、逃げて帰ったのもあったよ。**津**：そうそう。逃げて帰ったのも、入院する者もおるし。大変でした。**檜**：私は行ってないのよ、あそこにね。ちょっと不思議なんだよ。病気とかなんとか言うて、うまいこと免れたのかな。**甲**：今から考えたら、バカな作業ですよ。ね。**森**：あんなの、ブルトーザーが一つありさえすりゃあ、3日もありゃあできるのに。むしろを縄でくくったモッコを、天秤棒で、二人でそれを一つ担いでね。**中**：水田のべとべとの土で、土が重い訳ですよ。**森**：それでもう、アリが土を運ぶようにね、人海戦術で運んで。15歳の子供が50kgを担いだよね。**中**：そうそう、自分の体重ぐらいは。

被服廠

甲：被服廠での作業は4年生になってか

らですね。中：いえ、3年生の6月からです。檜：だいたい2年間、しごかれたわけです。私は小柄で非力だったから、被服をトラックに積み込むのは大変な重労働でした。森：見習い士官が、私らの班に2度ほど監督みたいな形で睨めに来たことがありました。それで我々に能率を上げることが強制するわけです。最初の見習い士官は、私達を1列に並べて番号をかけさせ、それを固有の番号にして、担いで来てトラックに載せる時に番号を言わせました。それを見習い士官が記録するわけ。運んだ回数が少ない者がいない様、競争でやらせるのです。ところが私達はトラックの台数と運ぶ距離によって、1日の仕事量というのは決まる、というのを知ってるのですよ。だから、どんなにテンポを上げてみても能率が上がるということは、全然無いわけです。我々は、もう経験上、それを知ってるものですから、疲れないようにうまく休憩も取ったりして、要領よくする。それを見習い士官は分からなくて、テンポを上げさせようとするわけです。疲れるだけで、能率には全然関係ないから、抵抗をしたわけです。もう順番を変えるなど。やがて見習い士官は分かって。皆を集めてお説教するのですが、お説教がまた能率を悪くするから、こっちは知らんぷりしてる。返事も何もせん。だもんだから諦めて、まあ廃止になって。2度目に来た見習い士官も同様なことをしましたね。



檜垣孝雄さん

中：そういう反抗精神の塊みたいなものでした。その最たるものが例のストライキをやった大事件だったですね。森：ストライキという言葉も知りませんでした、あの当時は。自然発生的に作業放棄っていう形になった。中：今、考えても、私は信じられないです。軍隊の中で労働放棄をやるなんていうことは。新：ありえません。あの当時の常識から言ったら、軍令違反罪でしょう。中：本当は命懸けですけど、なんか皆の気持ちが、自然にそうってしまったような感じで。身体検査もけしからんと言って誰かが言いましたら、そうだそうだということに

なあって。とうとう休憩室の中に立てこもって、絶対出んとか言うてね。森：それで私が廠長と直談判に行く時には、憲兵隊に捕まるかもしれないと思ひまして。それで2つの条件を出して、1つは私が帰ってくるまで、皆ここにおってくれということ。もう1つは、今のように憲兵に引っ張られて行くかもしれないから、誰か検分役に来てくれと。そしたら檜垣がね、「俺が行くよ」と。それで2人で廠長室に行って。



新井俊一郎さん

中：日本刀に立ち向かったんだよね、この2人で。森：廠長室というのは1階のロビーから階段で上がるような2階の正面の部屋なんです。階段に足をかけたら、上から怒鳴り声がするもんだから、見上げたんです。副官の大尉が日本刀の抜き身でこうやって振りかざして「お前ら、この時勢をなんと心得とるか！この非国民が」って、こう言うて怒鳴るわけです。檜：その瞬間に、わしは記憶を失ったんです。中：恐怖で記憶を失っとるんです。それぐらい、恐ろしいことだったね。檜：記憶がパーッと抜けてしもうてから。中：しかし廠長も、まあね、分かると言えば分かったんだ。まあとにかく、これは学校対被服廠の話だから、お前達とはとにかく引き返して仕事へ入れというふうに廠長が言うてくれたんです。ところが、これが反骨だから、それでも聞かない。結果を聞くまでは動かんとか言うて、まだ頑張ったんじゃないかな。まあ、ひどいもんだけどね。しかし、瀬群(せむれ)敦先生が被服廠との間に入って、話を穏便にしてくれたんで、我々はある意味では助かったんだ。森：事なきを得たからね。中：それでなかったら、全員刑務所行きよ、重営倉いうやつ。軍隊の件だから、それはもう大変なことになったろう。

先生たちの判断

新：私達1年生と2年生の事です。建物疎開の作業を附属の先生が断ったため、将校が、ダーンと床を軍刀で突いて、「貴様、非国民め！」と言ったそうです。でも先生は頑として引かず。12、13の子

供が炎天下で建物をぶっ壊して、跡に100mの幅の空き地を作る、こういう事をしていたら、機銃掃射でもされたら、絶対危険極まりない。他の学校の先生方も、ワートと皆そうだ、そうだと断ったそうです。そういう発言ができた学校です、附属っていうのは。中：まあ、その代わりね、附属だけが助かったっていうので、もう延々と言われたわな。津：ずーっと私は口にチャックをせざるをえなかったですね。地元の小学校の仲間は全部死んでいますから。中：自然に附属はけしからんという話になるんですから。私も、もうずっと口にチャックだったです。新：1年生が賀茂郡原村、2年生が豊田郡戸野村に出ていって。3年生は祇園で、4年生は被服廠で勤務奉仕。まさに直接被爆。森：被爆して負傷もしたけれど、レンガの倉庫のお陰です、助かったのは。中：私は特に、附属ということで世間からあれこれ言われた上に、妹が全滅した女学院の1年生だった。だけどうちの妹は、その日に限って体が悪いけえ、向洋の家におって助かった。新：紙一重ですね。中：でも、うちの妹、一生涯苦しんだわな。けしからんと、同級生のお母さん方が。本当はけしからんのじゃないんじやが、持って行き場がない訳よ。

追想

あれから68年。被爆体験者であり、生き残った我々、高齢被爆者には、被爆の実相を伝えるための時間は残り僅かになっています。私たち38回生は旧陸軍被服支廠にて勤労働員学徒として被爆、負傷するとともに、多数の避難してこられた重症者の看護にもあたりました。その痛ましい有様は今も忘れることはできません。原爆ドーム以外の被爆建物の保存は十分とは言えず、このままでは消滅してしまう恐れもあります。しかしこれらの建物は「物言わぬ証言者」であり、尊い犠牲者の魂の残る墓標でもあります。できるならば「被服廠」や、その他の被爆建物が、次世代への被爆の継承のためにも、今後、保存活用されるようお願いしています。

編集を終えて

先輩たちの話は想像を絶する濃い内容ばかりで、何を選べば良いかと。被爆の惨状そのものは、他に譲ることとし、いくつかのエピソードのみをまとめさせていただきました。編集の非力をお詫びいたします。

文責・編集：甲斐 稔(63回)

編集補：河本良子(63回)

いろいろアカシア情報

◆アカシアハムクラブ 8月3・4日に聖地である野呂山にてOB会を実施予定。広島在住幹事：手島由裕(74回)

◆51回生同期会 10月8日(火)横浜にての開催を計画しています。

代表幹事：寒川起佳

◆49回生同期会 10月20日(日)博多にて開催します。

代表幹事：倉本戴壽

◆48回生卒業55周年同期会をこの秋に開催、準備をすすめています。

代表幹事：中田研一

◆62回生還暦同窓会 平成26年1月4日(土)15時～、広島ダイヤモンドホテルにて開催。62回生の方には今回の会報に案内を同封しています。

代表幹事：俵 透

◆44回生卒業60周年記念同期会を平成26年5月18日(日)17時、ホテルグランヴィア広島にて開催。44回生のみなさまには、はがき等でもお知らせしています。

代表幹事：相良宏三

◆母校でアカシア会員(57回)による軽音楽演奏会を開催します。

日時：11月24日(日)

13時開場、13時30分開演

会場：附属高校講堂

演奏：昭和40年当時の附高軽音楽班「モスキートーズ」メンバー小谷教夫(ピアノ)、高名 健(ドラム)、挾間 孝(ベース)

発企：宮川隆吉(名古屋)、神鳥京子(広島)、井上 思(東京)

連絡先：佐々木隆雄

Tel070-5670-7480(18時以降)

アカシア会員ニュース

谷本禎生氏(41回)自伝を出版

宇部興産が米国に設立したウエアメ



リカ元社長、元ニューヨーク広島会会長の谷本氏が米国で送った経験を振り返った自伝「半世紀前のアメリカ留学とNY勤務」を出版されました。若者に海外への挑戦を促す提言もされています。定価：1,800円



山崎恭弘氏(41回)所蔵絵画を

広島県立美術館に寄贈

山崎氏が父、太佳司氏の所有していた油彩画「本川橋」(1931/11野田信画、爆心地から410mの本川橋付近を昭和初期に描いたもの)を平成25年初めに県立美術館に寄贈されました。アカシ



県立美術館に寄贈された「本川橋」
(33センチ×45センチ油彩)

ア会へはその報告とともに、美術館への寄贈を前にデジタルカメラで撮影した写真をお送り

下さいました。県立美術館では今秋10月19日から展示予定とのことです。

5月初旬までに幹事のみなさまより予定をお知らせいただいたものです。詳細は各幹事にお問合せください。「いろいろアカシア情報」では、同期会・出版・その他会員の皆様の情報を掲載させていただきます。情報をお寄せください。

～各学年の幹事の皆様へ～

全国版会報では、同期会のご予定を「いろいろアカシア情報」として無料で掲載させていただきます。ぜひご活用ください。

また、お知らせ発送などのための宛名印刷も承っています。

宛名シール印刷1シート(10人分)100円(200人分では2,000円)詳細はアカシア会事務局まで。

Tel082-253-5581 (平日10時～15時)

東京アカシア会 平成25年度春季総会・懇親会

最高の初夏の陽気になった5月19日(日)、平成25年度春季総会・懇親会が、東京都千代田区のスクワール麹町で開催されました。今年度も、母校から古賀一博校長先生、またアカシア会より向井恒雄会長(50回)にご来賓としてご出席いただき、39回から103回卒業まで64年間の年次を含む総勢138名の参加者が集い、盛大に開催されました。

総会に先立ちまして、今回は的川泰宣東京アカシア会会長(50回)より『はやぶさと日本の未来』のテーマで講演をしていただきました。約60名の参加者が集まり、宇宙教育の父といわれる的川さんのユーモア溢れる講演に大変感銘を受けておられました。

その後、例年通り総会を開催しました。まずは的川会長からご挨拶をいただき、中村 英事務局長代行(57回)より、平成24年度の決算報告と今年度の活動計画についての説明があり、拍手を持ってご承認いただいて無事に総会も終了しました。

続いて、この半年間に亡くなられた19名の方のご冥福をお祈りし、黙祷を捧げました。

そして、お待ちかねの懇親会へ。ご来賓のご挨拶として、まずは古賀校長先生より活発なクラブ活動の報告など、母校の様子をご紹介いただきました。広島の地を離れて長らく経つ我々にも今の母校の様子が良く伝わる素晴らしいスピーチをいただきました。その後、向井アカシア会会長からご挨拶をいただいた後は、佐久間俊昭氏(43回)のご発声で乾杯を致しました。

また、会の途中、東京アカシア会の会員でもある湯崎英彦広島県知事(75回)よりお手紙をいただき、司会の方から代読させていただきました。



今回は新しい企画として、16チーム対抗のクイズ大会を実施しました。附属にまつわる世代を超えたクイズを、世代混合のチーム対抗で競う企画です。カルビー様、広島カープ様、賀茂鶴酒造様、82回幹事学年からの提供賞

品を、1位のチームが獲得できる座組で、世代間のコミュニケーションも活発となり、大変盛り上がりました。この場を持ちまして、賞品ご提供をご快諾いただきました皆さまに深く御礼申し上げます。その他の賞品は、その後の抽選会にて活用させていただきます。



非常に盛況であった懇親会も、お開きの時間となり、参加者全員が大きな輪になって肩を組み、コールアカシアの方々を中心に校歌斉唱。そして最後に渡辺幸倫(82回)の音頭で「フレイ・フレイ・ア・カ・シ・ア!」のエンルを会場に響かせ、大盛況のまま閉会となりました。

東京アカシア会では、幅広い世代の参加促進・交流の活性化に向け秋季懇親会の準備も進めていく予定です。秋季懇親会は11月17日(日)の開催です。

文：6月6日記 梶川拓也(82回)

撮影：長谷博史(82回)

近畿発

近畿アカシア会前期総会



今年度の前期総会は、6月2日(日)に大阪第一ホテルにて開催した。今回は母校からの来賓として、高校副校長の隠善富士夫先生、中学校副校長の壇泉先生、そしてアカシア会からは会長の向井恒雄氏(50回)にご出席いただいた。

本総会は例年通り二部制とし、第一部の総会では森 静子氏(57回)に司会をお願いし、堀内重明会長(50回)の開会挨拶、隠善先生の来賓挨拶に引き続いて前年度決算、今年度の活動予算が承認された。そして香川 昇氏(38回)に乾杯のご発声をいただき、第二部の懇親会へと入った。

第二部の懇親会より司会を私、川村

美貴(97回)へと代わり、近畿アカシア恒例の出席者によるスピーチを行った。スピーチでは水村雅子氏(43回)から附属で過ごした学生生活の話(男女共学第1期生女子の苦悩や木造校舎の思い出)や、同窓生と集えるアカシア会をととても楽しみにしているといった話があった。中でも自らをアラフォーならぬアラエイトと称する熊本直文氏(43回)は、向井会長よりお話いただいたアカシア110周年記念に『ぜひ参加したい』と宣言されていた。また、新卒生代表でスピーチを行った棟田修平氏(103回)は『アカシア会の会長を目指す』と意気込んでおり、今後の近畿アカシアでどのように活躍していくのかが非常に楽しみである。

そして最後は参加者全員で校歌を合唱、附属への愛を確かめ、本総会を閉会とした。



今年卒業の103回生のみなさん

* 後期総会予定 *

次回総会は12月1日(日)にて開催予定です。今回はフレッシュな学生が中心となった企画も予定しておりますので、今からスケジュールに入れて頂き、是非ご参加ください。

6月11日記 川村美貴(97回)

[前出以外の出席者]

(38)川本和良、(43)藤井侃二、宮本眞巨、(44)春日幸子、山本瑤子、(46)見門忠雄、(57)岡 國太郎、(62)豊島秀郎、(63)勝丸浩之、(64)田頭史明、松富 諭、(84)末崎 恭、(99)福島晴香、(100)仁多一徳、(101)藤本浩平、野中雄太、(102)下原直緒、下森 舞、松岡佳那、(103)西岡亮之、前田健太郎、棟田純平、石井愛弓、岩本悠里、中本理紗子、宮脇友里恵、二宮 廉、加藤尚宏、岡田知也、東 泰佑、米吉慶祐、坪内杏子、浦手彩希、坂本佳子、小林真奈、寶宮紗紀

東海発

東海アカシア会・豊葦会 総会



主に愛知・岐阜・三重・一部は長野・静岡などに縁のある会員の親睦として、年に2回の集まりを豊葦会と合同で持っています。去る2月17日(日曜日)、レストラン「ヴィータフェリーチェ」で総会を開き、全国アカシア会から向井恒雄会長(50回)をお迎えして20名が集まりました。この日は名古屋の中心路線でSLの臨時運転があり、蒸気機関車の汽笛が響くビル街を歩いて会場にたどり着く珍しい経験ができました。

まず、沖 信一会長(55回)の挨拶で総会を始め、向井会長から最近の広島

のお話、会員へのお願いがありました。サンフレッチェの初優勝、大河ドラマなど、懐かしい広島の話が多い年でした。役員の構成・会計報告・活動報告の承認を頂いた後、吉本幹彦元東海アカシア会会長(41回)のご発声で乾杯し、今回は南欧フランス風イタリアのコース料理を楽しみました。明るく重くない料理と、ワインなどをそれぞれ楽しみながら、参加の皆さんに、自己紹介と近況紹介をしていただきました。

中村博之さん(43回)は戦後附小校舎で授業を受けた思い出。兼川 徹さん(48回)は、伊勢＝熱田ウォークに参加

したこと。林 滋さん(48回)はガイドボランティアをしている瀬戸陶器資料館の紹介。戸田 弘さん(50回)は18切符での旅。坂本利彦監査役(55回)は漢検の今年の漢字について。安田健一さん(59回)は大連で開いた同期会について。高岡義文さん(64回)は、津の石水博物館について。成瀬まり子さん(65回)は、成長していく家族の話題。竹中 弘さん(67回)は、愛知に来てからの生活。大谷幸子さん(87回)からは自宅でのお好み焼きパーティーで広島人の腕が好評だったこと。黒田直子さん(87回)からは環境NPOについて。石田 充さん(93回)は、仕事をしている県庁の話。山下寛泰さん(93回)は家族と仕事の話。笹口峻弘さん(100回)からは、研究中にアカシア会の縁があったこと。今回参加した中での最も若手、置塩章悟さん(101回)からは、成人式に出席したことなどが語られました。

最後に作曲家の梶 幸一朗事務局長(81回)の指揮で校歌・学生歌を合唱してお開きとなりました。

夏の節電シフトが終わる頃の日曜日にビール会を予定しています。

また、2014年2月には総会を開催します。是非ご参加下さい。学生さんは無料です。

2月20日記 佐藤哲郎(78回)

呉 発

呉アカシア会 第5回例会



春の訪れを身近に感じながらも少し肌寒く、ちょっぴり木枯らしの舞う節分の日の2月3日(日)呉阪急ホテルに於いて、呉、広島、竹原、東広島と安芸郡から28名の参加により第5回呉アカシア会例会を開催しました。おりしも呉市ではインフルエンザが大流行しており、大之木精二呉アカシア会長(43回)が発熱とのことでドクターストップで欠席されたことから急遽代役となった堀川副会長(47回)より「今年は昨年よりは明るくなって皆が希望が持てる動きとなり、正しく同じ方向に向かっていければ道は開けるでしょう。」との挨拶がありました。特別講演とし

て蜜屋本舗(株)明神様(88回)より「和菓子と春夏秋冬」と題して、和菓子のルーツは1200年前にインドから渡来し茶の湯の広がりと共に発展したことや季節毎の和菓子当のクイズを踏まえた楽しいお話をうかがいました。その中で、わらびもちが実は冬の和菓子であることや和菓子と花鳥風月との関わり、季節感と食感や口溶けが大切なことを教わりました。なによりも良かったのは、お話の途中で各テーブルに用意された蜜屋謹製の和菓子を皆さんおいしくいただき、職人さんの心意気を味わって感じる事ができたことです。この後は昨年末の衆議院選挙でアカシアの期待に答えて見事に返り咲き、しかも内閣府副大臣兼復興副大臣になられた寺田議員(66回)による乾杯の音頭で昼食会が始まりました。歓談の途中には、国立病院呉医療

センター救命救急センターの宮加谷先生(66回)より最先端の医療現場でのインフルエンザの治療法について教えていただきました。皆さんもよくご存知のタミフル投与薬と吸引式のリレンザは5日間使用しないといけないこと、一方、最近開発された特効薬である1回の吸引で済むイナビルや点滴薬ラビアクタがお奨めなことを知りました。更に発症から48時間以内でなければどの特効薬も効かないこと、発症しなくても予防的投与や処方が行われていること、「感染した場合には他の人にうつさないことが大切です」とすぐく役立つ情報を教えていただきました。楽しい時はあっという間に過ぎていく中で、恒例の校歌斉唱、記念撮影そして閉会の運びとなりました。次回は平成25年8月11日(日)12時～呉阪急ホテルで予定しています。

5月29日記 谷田部広志(65回)

第5回呉アカシア例会出席者名簿：(38)中西 巖、(43)川田禮子、藤井綾子、八島文子、(47)堀川重幸、村尾徳三郎、湯浅純吉、(49)奥村誠哉、竹鶴寿夫、原田瑞美、(50)井藤壯太郎、坂本紘子、(51)近藤邦夫、(52)殿村礼子、(54)竹広茂子、(57)西村幸子、(61)兼森 均、(65)谷田部広志、(66)木本芳弘、寺田 稔、宮加谷靖介、(69)榎本良二、(80)武井直宏、(82)守屋泰祐、森 直樹、(83)横川 淳、(85)栗栖史臣、(88)明神政之

各地域アカシア会のご案内

地域	会 長	事 務 局	行事予定
東京	的川 泰宣 (50回)	〒182-0023 調布市染地2-30-3-105 中村 英(57回) TEL042-485-6600 Eメール nkmred6e@gmail.com	総会と懇親会 5月と11月 次回は 11月17日(日)
近畿	堀内 重明 (50回)	〒669-1506 三田市志手原920-47 岡 國太郎(57回) TEL079-564-2414 Eメール okakunichan@nifty.com	総会6月と12月 次回は 12月1日(日)
東海	沖 信一 (55回)	〒442-0884 豊川市光明町2-41-55 佐藤 哲郎(78回) TEL0533-83-0981 (FAX兼用) Eメール tettsato@quartz.ocn.ne.jp	総会と懇親会 2月と9月頃
岡山	大本 榮一 (27回)	〒700-8550 岡山市北区内山下1-1-13 (株)大本組内 TEL086-225-5131 大本榮一(27回) Eメール fc-yokote5555@ezweb.ne.jp 横手靖吾(54回)	総会 11月第2土曜日

地域	会 長	事 務 局	行事予定
広島	吉中 康廣 (50回)	〒734-0005 広島市南区翠1-1-1 広島大学附属高等学校内 TEL082-253-5581	例会は毎月17日 (原則として)
九州	伊藤 哲生 (51回)	〒814-0142 福岡市城南区片江1-25-10 サポート一級建築士事務所内 山本哲三(61回) TEL092-863-0151 Eメール syam02038@jcom.home.ne.jp	総会 10月頃
東北	野尻 久 (33回)	〒980-8578 仙台市青葉区荒巻青葉 東北大学学際科学 国際高等研究センター 八百隆文(53回) TEL022-795-4400 Eメール tyao@cir.tohoku.ac.jp	懇親会 7月13日(土)
呉	大之木 精二 (43回)	〒737-0079 呉市上平原町14-33 殿村 礼子(52回) TEL0823-23-9728	次回は 8月11日(日)

株式会社 融合事務所

所属俳優



柳葉 敏郎



勝俣 州和

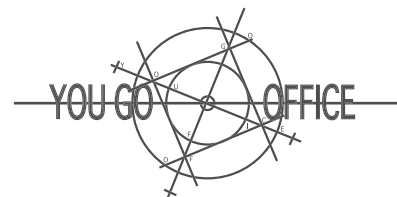


木村 多江



高橋 かおり

代表取締役 宮崎 忠(66回)



http://www.yougooffice.com/

株式会社 融合事務所 〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南1-9-4 長谷川ビル4F TEL:03-3794-2404

アカシア会事務局 Eメールアドレス akashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jp

職域・クラブだより

第48回アカシア医会総会



5月18日、広島アンデルセンにて平成25年度アカシア医会総会が開催されました。平成24年度会計報告などを行った後、砂川 融広島大学保健学科教授(69回)より「手外科とマイクロサージャリー」をご講演いただきました。進歩している手外科について教えていただきました。驚きの手技ばかりでした。懇親会では、木村進匡先生(46回)に乾杯の音頭をとっていただきました。全員の1分間スピーチでは、近況を楽しく語り合いました。最後に校歌斉唱、アカシア会からのゲスト榎本良二君(69回)のエールと、そして医学部4年生の安藤友希さん(100回)の万歳三唱で盛会にて終了しました。出席者は42名でした。(写真は講師の砂川氏)

5月31日記 香川直樹(69回)

アカシア歯科医会



平成25年4月19日オリエンタルホテル広島においてアカシア歯科医会を開催した。平成19年から6年間にわたって会長を務められた山崎義之先生(45回)が今季限りで勇退ということで、永年の功績を讃え、感謝状を贈呈した。また、本年6月から広島県歯科医師会長に内定している荒川信介先生(59回)を、アカシア歯科医会として激励した。なお、アカシア歯科医会総会は平成25年8月24日(土)に開催される。昭和大学歯学部教授 馬場一美先生(70回)に

ご講演いただく予定である。大勢の参加を期待したい。 鈴木隆子(74回)

サッカー班新卒業生 卒業生懇親サッカー大会に参加



去る3月20日、昨年に続き、修道・基町・城北・国泰寺・附属の新卒業生対象の懇親サッカー大会に招待されました。広島の高校サッカーは、いくつかの強豪校が中心になっているなか、「サッカーを通じて知り合い、文武両道で頑張ってきた卒業生に対し、卒業後広島を離れても、同年代の友情や広島への熱い想いを忘れず、各方面で活躍してもらいたい」との主旨で開催されています。当日は生憎の雨模様でしたが、エディオンスタジアムのピッチの上で、楽しく、情熱溢れるプレー続出でした。貴重な思い出ができ、互いの絆も深めることができ、開催幹事の修道サッカー部OBの皆さま、そして引率の先生方に感謝いたします。

3月20日記 先本賢司(71回)

アカシア・ベースボール・クラブ総会



恒例により、1月3日ABC(アカシア・ベースボール・クラブ)総会がアンデルセンにて行われました。小谷幸生会長(59回)のご挨拶を頂いた後、部長・監督から1年間の現役活動報告がありました。また、幹事長よりABCの活動報告(現役支援)もありました。久しぶりに参加の会員もあり、楽しいひと時となりました。(写真は59回小谷会長)

* 8月14日(母校グラウンドにてOB戦)、1月3日(総会)は永久固定日程です。

<http://baseball.acacia100.net/>

谷口公啓(73回)

同期会だより

37回生は超後期高齢者か



今春広大附属高校を卒業し、アカシア会会員となったのは103回生、37回の者たちからは66年後輩になるのでまさに孫の年代である。そう考えると同期の者達は元気だと思う。勿論入院して居る者、家で寝たきりの者も居るが、今期中に亡くなったものは一人も居ない。事務局から新名簿作成の為、改定を依頼されて初めて気付き、嬉しく亦た頼もしくなった。此れも若い頃教練や勤労働員で鍛えられたお蔭かと、昔の思い出が懐かしくなって来る。

とは言っても歳は歳、老いは段々と近付いて来る。私も82才の時車の運転を止め、従ってゴルフの回数も減り、遂に止めざるを得なくなった。記憶力も自分で驚く程悪くなり、昔の校歌や軍歌、行進曲等はアカペラで唄えるのに、二三日前の事が思い出せないという悲哀を味わっている。長命も良い事ばかりでは無いね。

5月23日記 大谷 正

東京アカシア41期春の同期会



昭和20年、旧校舎に入学し7月には原村に疎開したため命拾いし、波乱に満ちた時代を附属で過ごした41期生は未だに強い絆で結ばれている。その証拠に卒業後東京でも毎年春と秋の年2回同期会を開催している。今年の春の



ヒトにうれしいコト。

これまで、みなさまに「おいしさ」で「うれしい」をお届けしてきた私たち、カルビー。でも、「ヒトにうれしいコト」は「おいしさ」だけではありません。「美しい音色を聴いて、心が潤う」ことも、「素晴らしい絵画を見て、心が動かされる」ことも、私たちの暮らしになくてはならないこと。これからも「ヒトにうれしいコト」を、カルビーから。

掘りだそう、自然の力。

Calbee

会は5月13日に学士会館で開催されたが出席者9名と例年より少なく、これも誕生日が来れば81歳と老齢になったためか。正午に懇親会を開始し幹事より欠席者の近況や広島同期会のトピックス等報告。続いて出席者全員によるスピーチを行った。今回は出席者も少ないため持ち時間を充分とり、各自趣味や母校の思い出、病で手術した話、更にアベノミクスやTPPの話などにも発展して大いに盛り上がり、時間も15時過ぎとなったため、全員で記念撮影を行い次回秋の会でも元気で再会することを約束して解散した。

5月20日記 岡田 豊

45回生「喜寿を祝う会」盛況に

昭和30年の卒業から、あっという間の58年一。5月18日夜、宮島の鳥居を望む安芸グランドホテルで、「自前の喜寿を祝う会」を開催した。数学担当の岩合一男先生をお招きし、米国をはじめ各地から男性38人、女性31人が集う盛況ぶりであった。

人間形成の多感な時期を共に過ごした同級生とあって、「長幼の序」抜きで想い出話しの輪が広がった。テレビも産声も上げたばかりだし、もとよりパソコンや携帯電話もない時代…敗戦後の復興期から高度成長前夜の頃、自由闊達な校風の中で友情を深めた意味は大きい。男79.59、女86.44の平均寿命。アディショナルタイムにはどんな人生展開が待っているのだろうか。

翌日からは希望者23人が、小豆島、直島、犬島をチャーター船で巡り、瀬戸内海アートを楽しんだ。 岩崎 弘



45回生

ロングランで毎年開催の46回同期会

毎年開催している同期会、今年は何と5月19日から23日までの全5日間。参加者は全部で45名。まず、19日品川プリンスホテルのパーティが初日で、二日目は東京観光。一日中小雨の中、リニューアルの東京駅、東京タワー、浅草寺、スカイツリーといまどきの東京名所駆け足で観光。東京駅の変貌ぶりには目を白黒させて感心。スカイツリーは雨で消化不良。三日目は横浜散策。東京の隣の横浜を知ってもらうための企画だ。シーバスで山下公園、係留中の『氷川丸』を見学。「港の見える丘公園」に初めて訪れて感激した人も…。4、5日目は特別企画で東日本大震災の被災地を訪問。被災者とのふれあい、現状見学など意義深い時を過ごした。[常にその時代の Opiniオンリーダーたれ]を合言葉に研鑽を積み、再会を待つ。来年、勿論やります！



46回生



53回生

53回生卒業50周年に集う

その検討は1年半前から広島や東京で始まった。いつ、どこで、50年にふさわしい内容とは。その結果、集約されたのが「広島で合同クラス会を開催し、翌日、広島附属高校の第103回卒業式に有志で参加し、若い後輩への期待と激励のエールを送ると共に、私達自身、母校への思いを新たにしリフレッシュしよう」というもの。

去る2月28日(木)会場には89(男58、女31)名が集い、黙とう(物故者先生5名、学友8名)ののち歓談、最後に校歌、学生課、山男の歌を歌い、締めは応援歌、さらに各クラスに別れて2次会。

明くる3月1日(金)10時からの卒業式には18名が参集。古賀一博校長が告辞の中で「53回有志が参加」と紹介して下さり感激、卒業生を送り出す手拍子にも力がはいった。

もう一つの試みが「自署名簿」と向き合うこと。製本されて母校に大切に保管されており、持ち出しは適わなかったが「後日、希望者にはコピーを送る」としたところ、大半がこれを希望、うれしい誤算とあいなった。

講堂が狭く、私達の押し掛けは母校に御迷惑をかけることになったが、意義深い50周年記念行事となったことを、関係者の皆様に厚く御礼申し上げます。 和泉 眞、渡辺信昌、樋渡敬宇

56回生同期会の報告

毎年全国各地で開催している56回生同期会ですが、今年は5月18日に倉敷美観地区でおこなわれました。倉敷川に面した老舗旅館「鶴形」に、福森信夫先生、松井 坦先生とともに31人が

漢方内科 十河 医院

院長 十河 泰成 (75回)

広島市中区上八丁堀8-10 クロスタワービル3階

☎082-221-6138

神保町十河医院 (6月開業)

院長 十河 直美

千代田区神田神保町 1-7-15 源興ビル4階 ☎03-5283-8808



ITSUKAICHI

ファミリー歯科

副院長 酒井 智世 (75期)

〒731-5125 広島市佐伯区五日市駅前2丁目18-1 アネックスKS 2F

☎082-921-8148 (はいしゃ)



集まりました。地酒を飲み交わしながら近況を報告し合い、歓談し、最後に校歌と学生歌を歌っての、あっという間の2時間半でした。二次会は27人がカラオケ店へくりだし、一部屋では皆が歌いまくり、もう一部屋では飲み放話をしながらの歓談を続けました。

翌日はあいにくの小雨が時折ぱらつく天候でしたが、27人が参加しての倉敷散策。大原美術館を見学し、アイビー・スクエアを抜けて、東町での昼食は洒落たトラットリアで。旧宿場道を散策し、来年の再会を期して2日間の日程を和気藹々と終えました。

高橋 晃

アカシア57回 忘年会だよ集合!



昨年12月29日、市内流川「八雲」で57回生の同窓会を行いました。総勢27名、アカシアカップルでの参加も2組ありました。

還暦から4年、団塊戦士達の表情は年々穏やかになっていますが、それぞれの戦ってきた長く苦しい道のりを物語り、ここまで無事に來れたことを誰もが感謝しているようでもありました。話題は、ご両親の介護、可愛いお孫さんの話、病いとのかの共存等、私達の世代を象徴するものが多かったですが、還暦を機にそれまでの主婦業から新たに介護事業を興した、パワー溢れるTさんの話には皆度肝を抜かれ、また来年ブラジル開催のワールドカップに57回生全員を招待する(?)といった元高校全国大会出場のK君の勇ましい発言に

参加者一同鼓舞させられるなど、刺激の多い一夜となりました。

5月17日記 佐々木隆雄

アカシア58 鹿児島の旅 ～47年目の修学旅行～



1966年10月26日～11月1日(6泊7日)の九州一周の旅が我々の修学旅行であった。

5月25日18:00集合、場所は城山観光ホテルでいつものように同期会は始まった。参加者は、九州新幹線が全線開通したとはいえさすがに19名と少数であった。今回の新顔は秋山多賀子さんと上野真理さん(ともに旧姓)、兩名とも鹿児島在住である。話題は宮崎交通のバスガイドのことだったり、鹿児島での午後の行動であったりと修学旅行の話題がもっぱらであった。

翌日は、仙巖園(昔は磯公園といっていました)、桜島観光。両地とも修学旅行で訪れた地だ。でも、あの時の記憶は…?。桜島の火山灰がよく降った2日間であった。

大辻 明

恒例『アカシア65春合宿』



「何年かに一度は、故郷広島を旅先にするのも良し」ということで、『宮島グランドホテル有もと』を手配した。参加者は途中参加も入れ総勢23名、いつもの賑やかな旅となった。元安橋から世界遺産航路で、5月の爽やかな風に吹かれ川を下り瀬戸内海に出た。

宮島上陸、大願寺住職様に歴史、文化、心を学び、宿の女将さんには歓待して頂き、感謝の初日であった。2日

目は、開校記念日に走ったコースを登るには体力不足なので、ロープウェイ獅子岩駅より霊火堂～展望台とぐるり一周し、懐かしい青春の1ページに想いを寄せた。あの頃は話もできなかった男子と不思議に今は話もできる。なんとも言えないアカシアのパワーだと、歳を重ねるたび実感する。「元気で、また来年～」と笑顔で別れた。

5月26日記 吉本(酒井)貴水

84回恒例新年会



毎年1月2日に広島で開催している新年会に、今年も12名が集まりました。流川の居酒屋「民宿」で美味しい料理をつまみながら、大変楽しい会となりました。二次会は、マスターが手相占いをしてくれるバーに行き、みんなで仕事運や結婚運を見てもらいました。みんな、これから40歳ぐらいまでいい運勢らしく、明るい気持ちになりました。



また、2月1日には西新宿の居酒屋で、恒例の在京新年会を行いました。平日ということもあり、開始時間に間に合ったメンバーはわずかでしたが、解散時には総勢14名になりました。

最近はFacebookなどのおかげで、大掛かりな準備をしなくても気軽に同窓会を開けるようになり、同級生の交流も活発になっています。まだFacebookの同期会ページに参加されていない方は永田雄一氏までご一報ください。(nagata@mu-sup.com)

神鳥 静



福屋八丁堀本店

Faithful & Friendly
皆様の百貨店、Fukuya。

Fukuya



福屋広島駅前店

アカシアライブラリー
寄贈資料の紹介

(2013年1月～5月)

(敬称略・受付順) 太字は寄贈者

資料のご提供ありがとうございます。

・広島平和記念資料館記録「被爆体験
伝承者養成事業～被爆体験講話」

(41) 新井俊一郎

・谷本禎生(41回)著 自伝「半世紀前
のアメリカ留学とNY勤務」(8頁いろい
ろアカシア情報でも紹介) (41) 谷本禎生
・広島市未来都市創造財団編「文芸ひ
ろしま 市民文芸作品集第27号」(平成23年「市民文芸
作品集～エッセイ・
ノンフィクションの
部」で第一席に入選さ
れた伊藤氏の作品を収
録。) (51) 伊藤秀輔

・神岡太郎・博報堂エンゲージメント

ビジネスユニット共著
「マーケティング立国
ニッポンへ～デジタル
時代、再生のカギは
CMO機能～」

(74) 安藤元博

・写真「油彩画「本川橋」(1931/11野
田信画)を撮影」(8頁いろいろアカシア情
報でも紹介) (41) 山崎恭弘・中学校・高等学校生徒会発行誌「流
れ」「動き」「附高入門」他(1958年頃～
1990年頃) (57・旧教官) 小竹光夫

アカシア会会員数(1～103回)

(平成25年6月5日現在)(単位:人)

	人数	男性	女性
会員数	15,438	10,461	4,977
現存会員	11,219	6,734	4,485
物故会員	3,054	2,903	151
転居先不明	1,165	824	341

会報編集委員会

平成25年2月16日(土)アカシア会館
にて今年度上期会報編集会議を開催し
ました。読者の皆様に喜んで購読頂け
る紙面づくりを目指し、3時間に及び
議論しました。主な議題は、①上期月例版掲載計画
立案、②7月号全国版掲載計画立案。引き続き、会員の皆様にご登壇いた
だくコーナーもたくさんありますので、
御協力下さい。尚、4月より吉野
かおり(79回)に替わり、京極佳子(81
回)が加わることになりましたので、
よろしくお願ひいたします。また、この委員会に参加されたい方
は是非、ご連絡下さい。後列左より、岩崎純子(69)、吉野かおり(79)、大田陽子(74)
前列左より、森川真吾(79)、中本泰弘(65)、佐々木隆雄(57)、三隅俊行(66)

会報月例版を購読しませんか？

《会報月例版は年間購読料2,000円》

7月と1月に会報全国版を全会員の方にお送りしておりますが、それ以
外の月にも会報月例版を発行しています。会報月例版は月例アカシア懇談
会の報告の他、会員からの情報をタイムリーに掲載、皆様の親睦に役立つ
紙面作りを目指していますので、ぜひご購読ください。

《購読のお申込み》

アカシア会ホームページ<http://www.acacia100.net/> や、お電話(082-
253-5581)、Eメールakashia@fuhs.hiroshima-u.ac.jpにてお願いします。

計 報

(2013年1月以降判明)

旧教官 陣崎 克博 様 平成25年2月8日
森本 正一 様 平成25年2月8日
18回卒 川合 雅久 様 平成24年12月9日
19回卒 岡崎 文士 様 平成22年7月3日
27回卒 佐藤 始 様 平成24年12月17日
28回卒 熊田 重邦 様 平成25年1月29日
30回卒 村井 等 様 平成25年4月20日
31回卒 橋本 徹 様 平成24年12月29日
米田節次郎 様 平成25年5月14日
33回卒 井原 茂三 様 平成24年12月25日
大里 宏 様 平成24年12月10日
36回卒 永原 誠 様 平成25年5月23日
吉本 一雄 様 平成25年2月12日
38回卒 廣谷 速人 様 平成25年2月10日

39回卒 佐々木義郎 様 平成24年7月19日
山岸 彰 様 平成24年3月21日
41回卒 井上 公宏 様 平成25年3月25日
岡太 誠 様 平成25年1月27日
42回卒 谷口 治達 様 平成25年2月6日
43回卒 吉田 祐司 様 平成25年1月22日
45回卒 亀井 和士 様 平成24年12月28日
47回卒 岩崎 治 様 平成25年6月13日
立野 剛士 様 平成25年1月21日
明神 久喜 様 平成25年6月20日
森本 庄吾 様 平成25年6月17日
51回卒 吉田 幹則 様 平成25年2月18日
52回卒 河野 徳助 様 平成25年2月11日
61回卒 政川 忠志 様 平成24年11月4日
謹んでご冥福をお祈りいたします。

創業15周年記念 (平成10年開業)

司法書士米原和彦事務所 (広島)江田島国際司法書士事務所併設

所在地 〒737-2301 広島県江田島市能美町中町3291番地12
TEL(0823)45-3990 FAX(0823)45-5625
アメリカから 011-81-823-45-3990 ヨーロッパから 00-81-823-45-3990
E-mail: yoneharajimusho@poplar.ocn.ne.jp

代表司法書士 米原 和彦

79回(東京大学法学部卒業)

住所 〒737-2301 広島県江田島市能美町中町4170番地6

専 門 日本民法(新・旧)複雑相続登記(15年の業歴あり)
対応言語 日本語・英語
執務時間 日本時間 9:00～17:30

本事務所は不動産登記オンライン申請達成率100%につき、在外日本人の日本本
国についての登記法律相談事業に、原則電話で対応しつつ例外的に各国Regus
所在地までの出張の用意あり。警備保障会社対応済みであり、日本Regus(リー
ジャス)での利用実績もあり、アカシア会会員からの紹介は特典あり。

明田知子(88回)さんからのご紹介

④何事にも積極的に取り組まれている、とてもチャーミングな女性です。

③庄原市にある備北なつか病院という医療療養型の病院に勤務しています。周りは緑がいっぱいで素敵なところ。高速道路が整備されたので通勤圏内なんです。中3から白マス一筋で、高3の体育祭で大勢の仲間と一つのものを作り上げる体験が出来たのが一番の思い出です。様々なアカシア関係の集まりで、今の自分に役立つ刺激と自分の原点を発見する機会をいただいています。



②広島市南区
①花岡 奉憲(75回)

自己紹介と、次号登場される方をご紹介します。次号コーナーです。

出てもうても
えんかいのお

項目説明

- ① お名前と卒業回数
- ② お住まい
- ③ お仕事、自己紹介、母校の思い出
- ④ 次号登場の方との関係

会員リレー紹介 76

福永健太(91回)さんからのご紹介

④バスケット部のキャプテンをしていた後輩。我々92回と非常に仲が良い子でした。

③東京で読者モデルをやっているNPOの広報をしています。管弦楽班に所属し、ホルンを担当していました。中学の頃から高校の先輩と関わらせてもらえるという、附属らしい環境で、音楽を越えた様々なことを学ばせてもらえました。いまだにOBの先輩方と交流させてもらっています。体育祭で憧れのチアに入ったことも忘れられない思い出です。



②東京都新宿区
①大井 智保子(92回)

♥ビバ!アカシアカップル③♥



夫：小山 健夫(47回)
妻：小山 奎子(47回)旧姓：山口
1959年10月結婚(54年目)

馴れ初め：健夫は皆実小からの受験で奎子は附小から。高校の3年間は同じクラス。どの辺りからが「馴れ初め」なのかは秘密。

アカシアカップルで思うこと：先生に対して殆ど敬語を使わない・教壇も無い・運動会の応援合戦・修学旅行の計画作り等々の自由な雰囲気の中で培われた共通の感性で話が良く通じる。

夫から一言：予備校生活を始めた4月、マドンナからの激励の葉書に大感激。以降折にふれムチ、今後ともよろしく。

妻から一言：「阪神淡路大震災」を機に立ち上げた地域ボランティアの会『ボコアボコ』(少しずつというイタリア語)の気分で生活も遊びも楽しんでいます。

事務局だより

◆ホームページをご利用ください。



<http://www.acacia100.net/>

月例会をはじめ、各地域アカシア会や母校の行事予定をカレンダーで確認できるように随時更新しています。住所変更・名簿購入申し込みなどの事務局への連絡にもご利用いただけます。

◆新事務局員あいさつ



吉野さんの後任として、今年の4月より事務局で働かせていただくことになりました。まだわからないことばかりで、みなさまにはご迷惑をおかけすることもあるかと存じますが、早くお役に立てるよう、一生懸命努めます。どうぞ宜

しくお願い致します。京極佳子(81回)
◆広島大学附属中・高等学校体育祭は9月7日(土)開催(雨天順延)。

昨年度体育祭風景



昨年度体育祭風景

◆ご注意ください!

OBのみなさまに新聞広告代理店から母校を題材にした記事広告への協賛を依頼する営業電話がかかってくるとの情報が入っております。

新聞広告をアカシア会が関与して募集することは一切ありませんので、この点をご留意のうえ対処頂きますようお願いいたします。

◆運営会費納入のお願い

卒後30年を経過された方には「運営会費納入」をお願いしています。未納の方には払込票を同封していますので、会費1万円を最寄りのゆうちょ銀行よりお振り込み下さい。

アカシア81回生の皆様へ ~ご協力のお願い~

平成25年4月度のアカシア会報発送の際に、ご協力お願いの書類を同封させていただきましたが、¥5,000/1口でお願いしております活動支援費のお振込状況は、6/11現在で25名に留まっており、目標に程遠いものとなっております。

改めて、81回生の皆様のご協力を改めてよろしくお願いいたします。

アカシア81回生 下学年幹事一同(81akashia@gmail.com)

【払込先】ゆうちょ銀行 01330-4-50989 広島大学附属高校アカシア81期生同期会
(広島横川郵便局 店名:一三九 預金種別:当座)

6月例会レポート

開会挨拶

吉中康磨 広島アカシア会会長(50回)

今回は555回目の例会です。最近はお父さんを尊敬する子供が増えている傾向にあり良いことだと思います。

「ハワイ日本人移民の足跡を巡る旅」
広島経済大学教授

田中 泉氏(旧教官・66回)



もともと日系人の歴史を研究していたが、祖先の墓を探すためハワイから取材に来た日系5世の新聞記者に協力したのが始まりである。現在、ハワイ州の人口は136万人。その中で日系人は13.6%で第2位。日系人が多いハワイ島のヒロを中心に調査している。

ハワイの移民史

最初の移民は1868年で元年者と呼ばれるが、悲惨な境遇だった為その後はしばらく禁止された。1895年にハワイ王国と明治政府が提携しサトウキビ畑で働く官約移民が始まり、10年間で29084名が移民しているが、広島県民は其中で3分の1以上を占め一番多い。3年間の契約労働で400円(現在の4000万円くらい)の蓄財ができて帰国すると故郷に大きな家を建てた。

広島からの移民が多い理由

まず、地形による耕地面積の狭さや江戸時代から出稼ぎの伝統があったことがあげられるが、開国による綿などの農産物価格の暴落、海岸埋立てによる漁場

の喪失や日清戦争特需の終了による失業があげられる。一番重視するのは宗教的理由で、浄土真宗(安芸門徒)率の高さとその戒律により堕胎・間引が少なく人口増加率が全国一位であることや正直さや勤勉さ、また他力本願からくる楽天性・明るさがある。広島県人は雇用主に好評で募集に際し指定されることもあった。

墓地の調査について

墓石には、家名や氏名のほか、出身(原籍)地や生没年が刻まれている。家族関係もわかり、1歳未満で死亡している子どもの墓が非常に多く、当時の状況を想像して調査中に悲しくなることがある。町ごとに立派な仏教寺院があるが、とりわけ本願寺派が多い。本願寺派ホノルル別院の開教使にアカシア50回先輩がおられ、お話を聞かせて頂いたこともある。

その後の日系人

1924年に日本からの移民が事実上禁止されるまでには、写真結婚などにより女性も移民し、2世が誕生した。1941年の日米開戦により日系人は厳しい境遇に立たされることになった。

ホノルルのパンチボウルに軍人の墓があり、ヨーロッパ戦線で奮闘した歩兵100大隊や442連隊という日系人部隊に所属していた2世達の墓石が多くある。日系兵士出身では、大統領継承順位第3位にあたる連邦議会上院の仮議長までなり昨年亡くなったダニエル=イノウエ氏や、ハワイ州知事になったジョージ=アリヨシ氏のように政界に進出した人も多い。今後も、日系人墓地の調査を続ける予定である。

6月17日記 光藤亮介



6月例会出席者(敬称略78名)

(41)新井俊一郎、菊地日朗、(44)山本正一、(48)中田研一、(49)川瀬博之、(50)井藤壮太郎、小川玲子、向井恒雄、吉中康磨、(51)土主康弘、佐々木廣昌、寒川起佳、(53)山根恵子、(57)天島純子、(58)熊野義夫(59)三好 新、(63)甲斐 稔、(66)大木智子、押尾はるみ、小野由子、木本芳弘、小林敏生、鈴木俊哉、高中千穂、工田昌矢、田中 泉、谷元百合、豊田隆敏、檜山桂子、三隅俊行、三原千恵、(67)高橋裕子、(70)越智ようこ、林 賀子、(74)鈴木隆子、手島香苗、手島由裕、(75)梅岡 俊、菅 富誉樹、杉山亮一、十河泰成、寺本真司、中川祥子、三浦陽子、三歩千晴、湯崎英彦、吉山昌之、(76)大下洋嗣、岡田美香、佐久間由紀子、宮井ふみ子、(79)端野真、(80)加用雅信、成末孝明、三木理恵、村上尚子、(81)吾郷里華、石原崇洋、今岡俊之、香川慶太、木下和敬、菅 彩路、富田秀隆、根石宣昌、橋本佳子、松井智子、吉田 誠、好永裕一、(82)楠田朋代、森 直樹、簗 聡子、吉井良平、(84)池上智子、神島 静、倉本丈久、中村華代、(99)平川大二、松長由宇子

月例アカシア懇談会 今後の予定

8月例会：8月16日(金) 午後6時30分

※日程が通常と異なります。ご注意ください。

場所：アンデルセン(本通)

講師：栗栖 薫氏(64回)広島大学大学院脳神経外科学教授

新卒103回生の皆様は会費千円。詳細は同封プリントで。

9月例会：9月17日(火) 午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

講師：川妻二郎氏(36回)広島管財株代表取締役会長

10月例会：10月17日(木) 午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

講師：古沢泰治氏(72回)一橋大学大学院経済学研究科教授

11月例会：11月18日(月) 午後6時30分

※日程が通常と異なります。ご注意ください。

場所：アンデルセン(本通)

講師：尾形完治氏(61回)広島市教育委員会教育長

12月例会：12月17日(火) 午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)「忘年会」

講師：川上和之氏(77回)アーティスト

1月例会：1月17日(金) 午後6時30分

場所：アンデルセン(本通)

講師：松浦 修氏(84回)指揮者・新日本フィル指揮研究員

懇親会費は4,000円(82回以降の卒業生3,000円)

※講師は予定です。

アカシア会員なら参加自由。お気軽に直接会場にお越しください。

飲酒は20歳を過ぎてから。

常に品質最高を心がける

本社・醸造蔵/〒739-0011 広島県東広島市西条本町4-31

TEL(082) 422-2121

東京支社/〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸薬町1-12-9

TEL(03) 3668-4111

賀茂鶴酒造株式会社

石井泰行(43)



この一杯は 豊饒の海
君がいて 宇宙が歌って
果てもなく 夢かりたてる
飲びの歌 辛きその日も